

通称
「ぼくメディ」
やよ!

ぼくのかんがえた さいきょうの医療チーム My Strongest Medical Team



雇^{やと}って育^かてて、力^{ちから}を借^かりて。
この地^ち域^{いき}の患^{かん}者^{じゃ}さん^は、ぼくらが守^{まも}る!

20××年、G県。

度重なるトラブルで医療の現場は大ピンチ!

地域医療のプロジェクトメンバーに選ばれた君たちはあらゆる医療ミッションに挑むことになる。

全13種の医療職を雇ってor借りて“さいきょうの医療チーム”を結成。

様々な問題をかかえる患者さんたちを助けよう!



目的 PURPOSE

未来の医療はいったいどうなる？ 医療問題に向き合い、考える

超高齢社会が進み、人口の約30%が65歳以上の高齢者となっている現代の日本。今後ますます加速する高齢化の進行と少子化に伴う労働人口の減少は、ここ岐阜でも大きな課題となっています。これは医療現場においても深刻な問題。医療従事者が不足し、医療を必要としている人々に手が回らなくなってしまうからです。

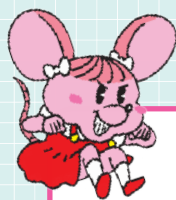
このゲームを開発した目的は、岐阜のこれからを担う世代に、こうした将来の問題に向き合ってもらうこと。ゲームを通して様々な医療ケースを解決することで、「医療」を身近に感じてもらいこれから直面する医療課題を「自分事」としてとらえてほしいと願っています。

成果 RESULTS

遊んで学ぶ医療の“可能性” 1人でも多くの医療人を育む

医療に抱くイメージは人それぞれ。「人の命を守る大切な仕事」、「使命感と誇りを持てる仕事」というポジティブなイメージの一方で、「血や臓器を見なければならない」、「様々な患者さんに携わるのは大変そう」などネガティブなイメージを抱く方もいるかもしれません。

このゲームを通して学べるのは「医療の仕事には様々な種類と活躍の場がある」ということ。病院以外の場所で、患者さんと直接関わることがなくても医療の現場で活躍している人は大勢います。多種多様な医療の仕事とその魅力を知ることによって医療職をより身近なものに感じ、「自分が活躍できる場もあるかも」という気づきにつなげます。



遊び方

各地の患者さんを救って、地域医療の問題を解決するゲームです。

患者さんの条件を満たす医療職にコインを払って「雇用」し、患者さんを「治療」しましょう。

- 1 プレイヤーは自分のターンで「雇用」or「治療」のいずれかを選択して実行。これを時計回りで繰り返します。

雇用

プレイシートの「医療職カード」に書かれた「雇用コスト」の数のコインを支払い、ほしい「医療職カード」を1枚獲得します。

治療

自分の手持ち、または他プレイヤーの「医療職カード」を使い、プレイシート上にある「患者カード」を治療します。

- 2 全ての「患者カード」が山札からなくなったらゲーム終了。獲得した「患者カード」をメディカルカラーごとに数え、ボーナスカードを配ります。

- 3 最終的に持っているコインの点数と「ボーナスカード」の合計点で勝敗を競います。



【患者カード】

獲得できる
コイン

クリア
条件

メディカルカラー



About us ～岐阜医療科学大学について～

岐阜県にある医療系学科のみで構成される医療総合大学。1973年より医療従事者の育成に尽力し、これまでに1万人以上の卒業生が全国で活躍している。「技術者たる前に、よき人間たれ」の建学の精神のもと、臨床検査技師・診療放射線技師・看護師・保健師・助産師・薬剤師を目指す3学部4学科1専攻科を設置する。



岐阜医療科学大学
GIFU UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE



遊び方